無印良品

CD ラジオ
形名 PRD-2

取扱説明書

- お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所に大切に保管してください。

保証書付 裏表紙にあります

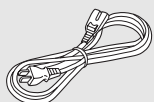
もくじ

はじめに

準備

聞きかた

その他

付属品をお確かめください

電源コード
（約1.8m）……1

本書（保証書付）…1

ご注意

本製品に付属の電源コードは、本製品以外の機器に使用しないでください。

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

● 「安全上のご注意」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体のPOWER(⏻)ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- **煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）**
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- **本機の内部に水などが入った**
- **異物が本機の内部に入った**
- **音が出ないなど（故障状態）**
- **倒したり落としたりして、キャビネットを破損した**

⚠ 警告

電源について

■電源コード接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。

■電源コードを傷つけない

無理な使いかたをするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

禁　止

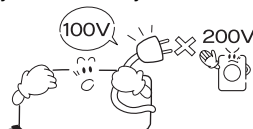
電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■定期的に点検を

設置時から1年に1度は電源コンセントと電源プラグの間にホコリが付着していないか、電源コードに傷みがないか、電源プラグが抜けかけていないかなどを点検してください。

■電源電圧100V以外や国外では使用しない

表示された電源電圧（AC 100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
また、本機をAC電源で使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

禁　止

■雷が鳴り出したら

電源プラグやアンテナには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

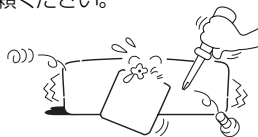
接触禁止

屋外で使用中の場合は、ロッドアンテナをたたんで安全な場所に避難してください。落雷の原因となります。

使用方法・設置

■分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

禁　止

⚠ 警告

■ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

水ぬれ禁止

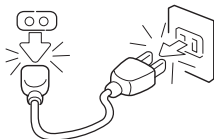
■異物を入れない

通風孔やディスク挿入口などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）火災、感電の原因となります。

禁　止

■乾電池で使用する場合

電源コードはコンセントおよび本機のAC電源端子（AC IN〜）の両方とも抜いてください。コンセント側が接続されていると火災、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

■通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部や底部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

禁　止

■壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10 cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。

ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10 cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁　止

⚠ 注意

■電源プラグを抜くときの注意

濡れ手禁止

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■本機の上に重いものを置かない

禁　止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、**本機の上に乗らないでください。**（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）

⚠ 注意

■設置場所に注意

- じゅうたんやたたみ、塩化ビニール製の床材や家具などの上に設置するときは、下に板などを敷いてください。直接置くと床面が変色することがあります。

禁　止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■本機を不安定な場所に置かない

禁　止

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ディスク挿入口に手を入れない

指をはさまれないよう注意

けがの原因となることがあります。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）

■持ち運びの注意

電源プラグを抜く

- ディスクを取り出してください。
  電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、外部接続をすべて外してから持ち運びしてください。接続したまま持ち運びするとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- ロッドアンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運びするとロッドアンテナがひっかかったり、当たったりしてけがの原因となることがあります。

■スピーカーの前に割れやすいものなどを置かない

禁　止

スピーカーからの空気圧により倒れたり、落下して、故障やけがの原因となることがあります。

■変形やひび割れしたディスクは使用しない

禁　止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ヘッドホンやイヤホンの音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■音量に注意

- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

禁　止

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■電磁波の発生する機器に近づけない

禁　止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけない。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあります。

■クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

禁　止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■長期間(1ヶ月以上)使用しない場合やお手入れの際の注意

電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

■内部の掃除について

1年に1度は内部の掃除について、お買い上げの販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■乾電池使用上の注意

乾電池の使い方を誤ると、乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 指定以外の乾電池は使用しない。
- 極性(⊕と⊖)に注意し、表示通りに入れる。

禁　止

- 種類の異なるものや、新旧の乾電池を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。

- 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、乾電池を取り出しておく。

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

※ 充電可能な乾電池については使用説明書に従ってご使用ください。本機の乾電池は通常アルカリ電池のことをさして説明しています。

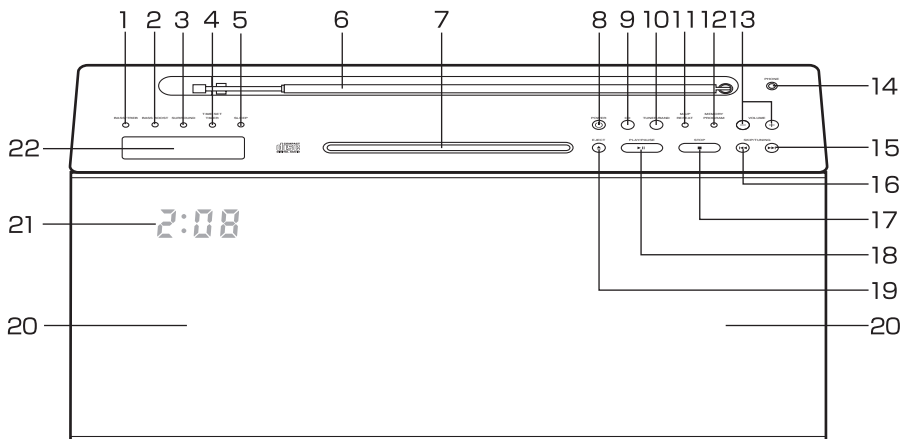
著作権について

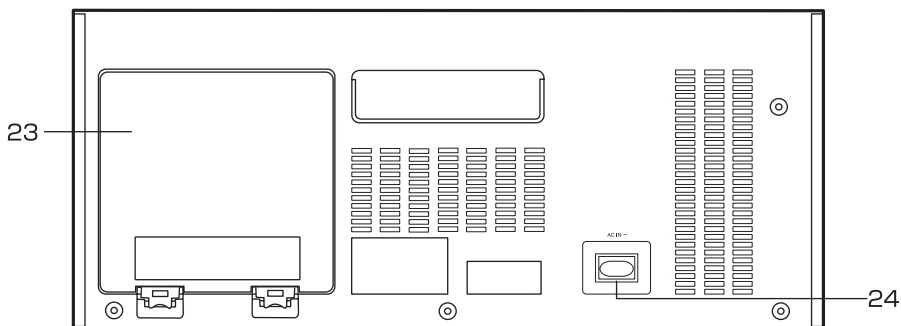
- 放送やMD、DVD、CD、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。また、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)におたずねください。

JASRAC本部:TEL.　03-3481-2121
FAX.　03-3481-2150
URL　http://www.jasrac.or.jp/

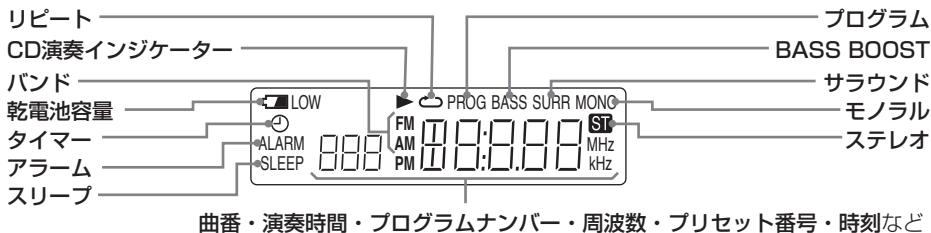
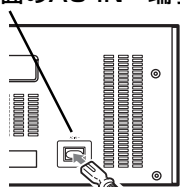
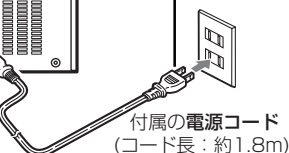
はじめに

各部のなまえ

上面/前面

1. BASS/TREB（音質）ボタン
2. BASS BOOST（重低音）ボタン
3. SURROUND（サラウンド）ボタン
4. TIME SET/TIMER（タイマー）ボタン
5. SLEEP（スリープ）ボタン
6. ロッドアンテナ
7. CDスロット
8. POWER ⏻（電源）ボタン
9. CDボタン
10. TUNER/BAND（チューナー）ボタン
11. M-UP/REPEAT（リピート）ボタン
12. MEMORY/PROGRAM（プログラム）ボタン
13. VOLUME −、＋（音量）ボタン
14. PHONE（ヘッドホン）端子
15. SKIP/TUNING ▶▶I（スキップ／選局）ボタン
16. SKIP/TUNING I◀◀（スキップ／選局）ボタン
17. STOP ■（停止）ボタン
18. PLAY/PAUSE ▶II（演奏/一時停止）ボタン
19. EJECT ▲（取り出し）ボタン
20. スピーカー
21. 時計（LED）
22. 表示窓（LCD）

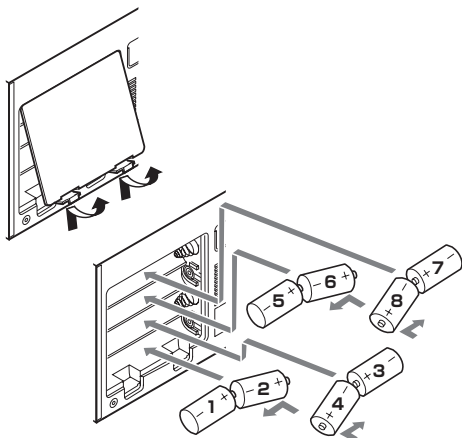
背面

23. 電池ぶた
24. AC IN ～（交流電源）端子

表示窓/電源について

表示窓(LCD)

AC電源でご使用の場合

ご注意

- 電源コードを抜き差しするときは、本体の電源を切ってからおこなってください。先に電源を切らないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因となります。
- 電池動作時、途中で電源コードを差し込むと電源が切れますのでご注意ください。

乾電池でご使用の場合

電池ぶたを開け、別売の**単2形乾電池8本**を図のように入れ、ふたを閉めます。

- 極性(⊕と⊖)を間違えないように図に示す番号順に入れます。

- 電源コードがAC IN～端子に接続されていると、乾電池では動作しません。
- 長期間(1カ月以上)使用しない場合やAC電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

ちょっとこれを！

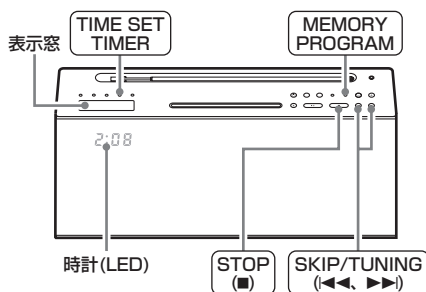
乾電池の交換は早めに・・・・

- 乾電池が消耗してくると次のような現象が生じます。
  - 音が小さい、ひずむ。
  - ラジオは聞けるがCDが正常に動作しない。

  また、表示窓のバッテリー表示(「LOW」)が以下のように切り換わり、電源が自動的に切れます。

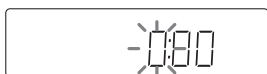
  遅い点滅 → 早い点滅 → 点灯 → 電源切り

  バッテリー表示が点滅したら、早めに新しい乾電池に交換するか、AC電源を使用してください。
- 大切な再生やCD演奏をするときは、あらかじめ新しい乾電池に交換するか、AC電源の使用をおすすめします。

時計を合わせる

ACコンセントに電源コードを差し込むと、時刻を合わせるまでは時計表示が点滅します。電源が切れた状態で現在時刻を合わせてください。
タイマー演奏などのタイマー機能を使うため、最初に時刻を合わせておいてください。

(例)「18時30分」に合わせる

1 **電源が切れた状態で、MEMORY PROGRAMボタンを押す**

表示窓の「時」表示が点滅します。

2 **SKIP/TUNINGボタン(|◀◀ または ▶▶|)を押して、時間を「18」に合わせる**

3 **MEMORY PROGRAMボタンを押す**

表示窓の「分」表示が点滅します。

4 **SKIP/TUNINGボタン(|◀◀ または ▶▶|)を押して、分を「30」に合わせる**

5 **MEMORY PROGRAMボタンを押す**

時計が動き出します。

- 時報(「117」に電話)に合わせて押すと、時刻を正確に合わせることができます。

※ 電池で時刻を設定する場合は、電源を入れてTIME SET TIMERボタンを押した後、MEMORY PROGRAMボタンを押すと、操作1と同じ状態になります。後は説明文に従って操作してください。

時計の12時間表示/24時間表示を切り換える

電源を切った状態で、STOP(■)ボタンを押しながらMEMORY PROGRAMボタンを押す

上記操作をくり返すたびに、以下のように切り換わります。

「12時間表示」⟷「24時間表示」

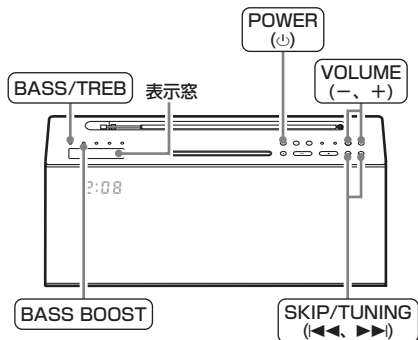
- 本書では24時間表示で説明をしています。
- 電池動作では時計表示の切り換えはできません。

ちょっとこれを!

- 時刻を設定した後に時計表示が点滅表示されているときは、停電や電源コードの抜き差しにより、時計が止まっていたことを示します。もう一度時刻を合わせてください。
- 長時間使用していると、時刻表示がずれることがありますので、その時は、再度正しい時刻に設定しなおしてください。
- 設定した時刻を変更したい場合は、上記手順と同様の操作をおこなってください。
- 時計(LED)部にも、表示窓と同じ時刻が表示されます。乾電池使用時においてもボタン操作時は時計(LED)が表示されますが、電池残量が少なくなると、時計(LED)は表示されません。
- 他の操作中に時刻を確認するには、TIME SET TIMERボタンを押してください。約10秒後、もとの表示に戻ります。

共通の操作

つづく

POWER (⏻)
BASS/TREB　表示窓
VOLUME (−、+)
BASS BOOST
SKIP/TUNING (|◀◀、▶▶|)

電源を入/切する

POWER(⏻)ボタンを押す

電源が入り、表示窓が点灯します。

- 表示窓に「HELLO」が表示されます。
- ファンクションは電源を切る前のファンクションになります。

もう一度押すと電源が切れる

- 表示窓に「bYE」が表示されます。

ちょっとこれを！

- 音量や音質、サラウンドなどの各種設定内容は、電源を切る前の設定が保持されます。

音量を調節する

VOLUMEボタン(−または+)で調節する

押すたびに、表示窓に音量レベル(VOL 0 〜 VOL 39)が表示されます。

- 電源コードを接続し、最初に電源を入れたときや停電後最初に電源を入れたときの音量は、自動的に「VOL 15」にセットされます。

ご注意

- CDはノイズが少なく、通常のレコードやカセットテープのようにノイズを聞きながら音量を調節しますと、思わぬ大音量になることがありますので、ご注意ください。特にヘッドホンでお聞きの場合、耳を痛めることがありますので、ご注意ください。

お好みの音質に設定する

再生する内容に合わせて、高音(TrEbL)と低音(bASS)の音質をそれぞれ設定することができます。

1 BASS/TREBボタンを押して設定したいモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

→「bASS」→「TrEbL」→もとの表示

2 SKIP/TUNINGボタン(|◀◀ または ▶▶|)を押して設定する

モード	表示	設定値
bASS	bAS	−5 〜 +5
TrEbL	HI	−5 〜 +5

3 操作1〜2を繰り返して音質を設定する

4 BASS/TREBボタンを押す

繰り返し押して、もとの表示に戻します。

ちょっとこれを！

- 設定中、約10秒間何も操作しないと、自動的に設定が終了します。

重低音を強調する

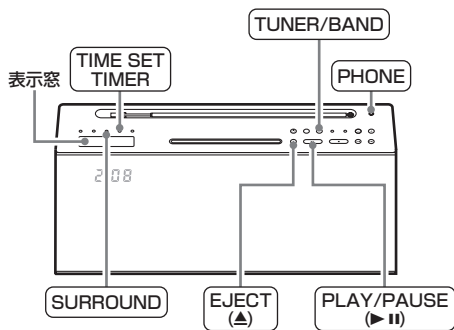
重低音を強調した音質にすることができます。

BASS BOOSTボタンを押す

表示窓に「BASS」表示が点灯します。

もう一度押すと表示が消え、通常の音質になります。

準備
聞きかた

共通の操作

サラウンドモードを設定する

再生する内容や状況に合わせて設定を選ぶだけで、自然な臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。

SURROUNDボタンを押す

表示窓に「SURR」表示が点灯します。

もう一度押すと表示が消え、通常の音質になります。

ワンタッチで再生を始める(AC電源時)

電源が切れている状態でも、ボタンを一つ押すだけで自動的に電源が入り、演奏や放送が始まります。

CD演奏(CDが入っているとき)

PLAY/PAUSE(▶ II)ボタンを押すと、演奏が始まります。

CD演奏(CDが入っていないとき)

CDをCDスロットに挿入すると、自動的に電源が入り、CDが引き込まれて演奏が始まります。

ラジオ放送の受信

TUNER/BANDボタンを押すと、放送を聞くことができます。

- ラジオのバンドや周波数などは、電源を切る前のモードでスタートします。

CDの取り出しもワンタッチで

EJECT(▲)ボタンを押すと、CDが出てきます。

省エネモードを設定する

自動的に電源を切ったり、電源を切った後、一定時間後に時計(LED)の表示を消灯することができます。

電源を切った状態で、TIME SET TIMERボタンを押す

押すたびに、以下のように切り換わります。

「ECO On」←→「ECO OFF」

		電源入のとき		電源切のとき	
		ECO OFF	ECO On	ECO OFF	ECO On
AC電源	オートパワーオフ	―	CD停止10分後オフ	―	―
	時計(LED)	点灯	操作終了1分後消灯	点灯	操作終了10秒後消灯
	表示窓照明	点灯	操作終了1分後消灯	消灯	消灯

ヘッドホンで聞く

3.5φミニプラグ付のステレオヘッドホンまたはイヤホン(市販)を上面のPHONE端子に接続する

ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

音のエチケット

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

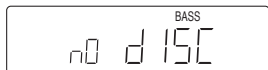
CDを聞く

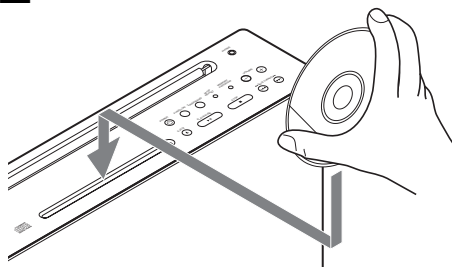
つづく

CDを聞く（通常演奏）

この操作はCDを聞くときの基本操作です。

1 CDボタンを押す

- 電源が切れているときでも、ボタンを押すと自動的に電源が入り、CDファンクションに切り換わります。

- 電池のみの場合はCDはセットできません。電源を入れるか電源コードを接続してCDを挿入してください。

2 CDを入れる

- 演奏面に触れないように持ち、本機上部のCDスロットに、レーベル（印刷）面を**手前に**してスロット中央部へそっと入れてください。
  CDは自動的に引き込まれます。
- 一度に2枚以上のCDを入れることはできません。

表示窓に「LOAd」→「►」が表示され、自動的に曲番１から演奏が始まります。演奏中は、トラックナンバーと経過時間を表示します。

- ＣＤが入っている場合は、PLAY/PAUSE（►॥）ボタンを押して演奏を開始します。

最後の曲が終わると自動的に止まり、表示部にそのCDに入っている全曲数と全演奏時間を表示します。

ご注意

- 演奏中に本機を動かさないでください。音が途切れたり、CDを傷つけてしまうことがあります。
- CDスロットにはCD以外の物は入れないでください。故障の原因となります。
- CDスロットの上に物を置かないでください。CDが出てときに、物が倒れて破損やけがの原因となります。また、故障の原因となります。

演奏を途中で止めるには

STOP（■）ボタンを押す

演奏を一時的に止めるには

演奏中にPLAY/PAUSE（►॥）ボタンを押す

表示部の「►」表示が点滅します。

もう一度押すと再び演奏が始まります。

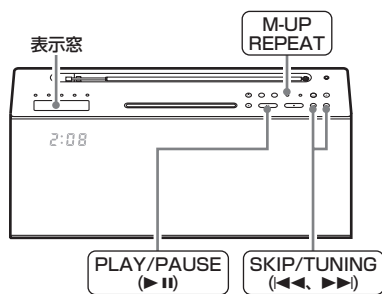
CDを取り出すには

EJECT（▲）ボタンを押す

CDがCDスロット部に上がってきます。

ちょっとこれを！

マークの入ったＣＤをご使用ください。

- CDの裏表を逆に入れると「nO dISC」を表示し、演奏できません。
- CDに傷、指紋、ほこりなどがついていると演奏できないことがあります。
- MP3ファイル形式のディスクは演奏できません。
- VCD（ビデオCD）は演奏できません。
- 本機では8cmディスクを再生できません。
  また、ディスクアダプタを使っての8cmディスクの再生もできません。無理に入れるとディスクを取り出せなくなる場合があります。

聞きたい曲から聞く

停止中にSKIP/TUNINGボタン(I◀◀ または ▶▶I)で、希望の曲番を選び、PLAY/PAUSE(▶ II)ボタンを押す

曲の頭出し(スキップ)

演奏または一時停止中にSKIP/TUNINGボタン(I◀◀ または ▶▶I)を短くポンポンと押す

- 次の曲の頭に飛ぶには、SKIP/TUNINGボタン(▶▶I)を1回押します。
- 演奏中の曲の頭に戻るには、SKIP/TUNINGボタン(I◀◀)を1回押します。
- 前曲の曲の頭に戻るには、SKIP/TUNINGボタン(I◀◀)を2回押します。

ちょっとこれを!

- 一時停止中にスキップした場合は、スキップ後、一時停止状態になります。
- プログラム演奏中は、プログラム順にスキップします。
- スキップ中は、演奏音は聞こえません。

早送り、早戻し(サーチ)

演奏または一時停止中にSKIP/TUNINGボタン(I◀◀ または ▶▶I)を押し続け、希望のところで指を離す

ちょっとこれを!

- 一時停止中にサーチした場合は、サーチ後、一時停止状態になります。
- SKIP/TUNINGボタン(▶▶I)を押し続けると、最終曲の最後で止まります。また、SKIP/TUNINGボタン(I◀◀)を押し続けると、最初の曲の頭で一時停止状態になります。
- プログラム演奏中のサーチは、演奏中の曲の中だけでできます。

演奏をくり返す(リピート演奏)

M-UP REPEATボタンを押す

CDの中の1曲だけまたは全曲をくり返し演奏します。

1曲だけをくり返し演奏するには

M-UP REPEATボタンを1度押す

「⮌」表示が点滅します。

全曲をくり返し演奏するには

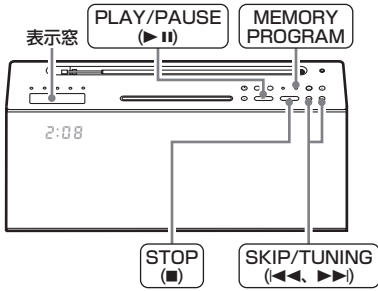
M-UP REPEATボタンを2度押す

「⮌」表示が点灯します。

- 演奏前にくり返しを選んだときは、PLAY/PAUSE(▶ II)ボタンを押して演奏を始めます。
- 解除するにはM-UP REPEATボタンを一度または二度押し、「⮌」表示を消します。

ちょっとこれを!

- **CD-R/RWディスクについて**
  本機では音楽を録音したCD-R/RWディスクを演奏することができますが、録音された環境や内容によっては演奏できないこともあります。
  未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクを傷つけることがあります。
  CD-ROM形式のCD-R/RWディスクを入れないでください。故障の原因となります。
- 本機ではCD-R/RWディスクに録音することはできません。

つづく

お好みの曲を選んで聞く(プログラム演奏)

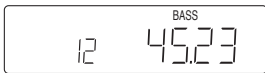
好みの曲を24曲まで選んで演奏することができます。

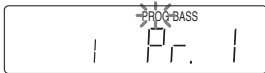
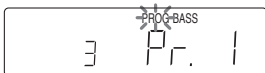
例えば次のようにプログラムする場合…

演奏順	曲番(トラックナンバー)
1番目	曲番3
2番目	曲番1

1 **CDを入れて、停止状態にする** P13

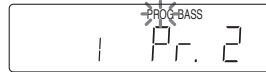
全曲数と全演奏時間を表示していることを確認します。

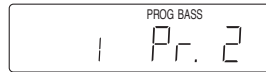
- 演奏している場合は、STOP(■)ボタンを押して停止状態にしてください。

2 **MEMORY PROGRAMボタンを押す**

「PROG」表示が点滅し、演奏順1番目の「Pr.1」と曲番「1」を表示します。

3 **SKIP/TUNINGボタン(I◀◀ または ▶▶I)をくり返し押して曲番「3」を選ぶ**

4 **MEMORY PROGRAMボタンを押す**

演奏順1番目に曲番3がプログラムされて、「PROG」表示が点灯に変わります。

5 **SKIP/TUNINGボタン(I◀◀ または ▶▶I)をくり返し押して曲番「1」を選ぶ**

「PROG」表示が点滅し、演奏順2番目の「Pr.2」を表示します。

6 **MEMORY PROGRAMボタンを押す**

演奏順2番目に曲番1がプログラムされて、「PROG」表示が点灯に変わります。

7 **PLAY/PAUSE(▶ II)ボタンを押す**

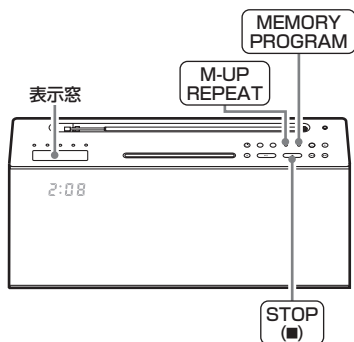
「▶」表示が点灯し、プログラム演奏が始まります。プログラムした曲がすべて演奏されると停止します。

プログラム演奏を途中で止めるには

STOP(■)ボタンを押す

「PROG」表示が点灯したまま、「0　0.00」を表示します。設定したプログラムは記録されています。

ちょっとこれを！

- 24番目までプログラムすると、「FULL」を表示します。25番目以上をプログラムすることはできません。
- 同じ曲を何度でもプログラム予約することができます。
- 演奏中やCDを入れていない状態ではプログラム予約できません。

プログラムを取り消すには

停止時に、STOP(■)ボタンを押す

「PROG」表示が消え、そのCDに入っている全曲数と全演奏時間の表示になります。

- CDを交換したときもプログラムは取り消されます。

プログラムを確認するには

停止時に、MEMORY PROGRAMボタンを押す

プログラムした内容が順に表示されます。

プログラムの最後に曲を追加するには

1 停止時に、MEMORY PROGRAMボタンをくり返し押して「-- --.--」を表示させる

2 前ページの手順3～4と同様に曲番を追加する

プログラムを変更するには

1 停止時に、MEMORY PROGRAMボタンをくり返し押して変更したい曲番を表示させる

2 前ページの手順3～4と同様に曲番を変更する

ご注意

- プログラムした曲と曲との間に新しい曲を追加したり、削除することはできません。

プログラムをくり返し演奏する

プログラム演奏中の1曲またはプログラムした全曲をくり返し演奏することができます。

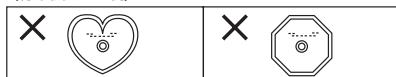
プログラム演奏中に、M-UP REPEATボタンを押す

- 詳しくは、「演奏をくり返す（リピート演奏）」P14 をご覧ください。

CDについてのご注意

- **CDにインクジェット用CDラベルを貼ったCDや紙やシールを貼ったCDは使用しないでください。**
  また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるCDは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

（特殊形状CDの例）

× ×

- 市販のCDスタビライザは使用できません。
- こんなときに音とびを起こしますので、ご注意ください。
  - ◆ 本機に強い衝撃を与えたとき。
  - ◆ 薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。
  - ◆ CDの内容によって音とびを起こすことがあります。その場合は音量を下げてお聞きください。
- **コピーガード付きCD再生について**
  CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としては、CD再生機器における再生の保証は致しかねます。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するCDであることをお確かめください。なお、CD規格に準拠しないCD再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはCDの発売元にお問い合わせください。

ラジオを聞く前に

つづく

選局方法について

本機では2つの方法で選局ができます。

アップ／ダウン選局：
受信したい放送局の周波数に自動（オートスキャン）または、手動（マニュアル）で合わせます。

プリセット選局：
ご自分でプリセット（プログラム）した放送局を選局するときに使います。
FM24局、AM20局までプリセットできます。

テレビ音声について

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令として決定されています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聴くことはできません

本機のFMバンドでテレビの1～3チャンネルの音声を聞くことができます。

ちょっとこれを！

- ステレオ、音声多重にはなりません。
- 本機のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
- 室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でテレビ音声を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

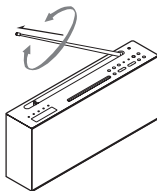
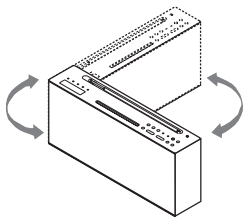
FMステレオ放送の受信について

STOP（■）ボタンを押すたびに、ステレオモード（「ST」表示が点灯）とモノラルモード（「MONO」表示が点灯）が交互に変わります。ステレオモード時にFMステレオ放送を受信すると、自動的にステレオになります。

- 受信状態が悪いとステレオにならないことがあります。この場合、モノラルモード（「MONO」表示が点灯）にすると、ステレオにはなりませんが聞きやすくなります。
- モノラルモードは自動的に解除されません。FMステレオ放送を受信する場合は、ステレオモード（「ST」表示が点灯）に切り換えてください。
- AMステレオ放送、FM文字放送には対応していません。

よりよい受信をするために

アンテナを調節してください。

■ **FM放送のとき**
ロッドアンテナを伸ばし、もっともよく聞こえる方向に向けてください。

■ **AM放送のとき**
本体の向きを変えて、もっともよく聞こえるようにします。

ちょっとこれを！

- テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離してご使用ください。
- 受信状態は本機の設置場所によって変わります。

受信状態が悪いときは（FM放送）

1 **ラジオを受信中に、MEMORY PROGRAMボタンを押す**
表示窓に「P－－」を表示し、「PROG」表示が約10秒間点滅します。

2 **「PROG」表示点滅中に、BASS BOOSTボタンを押す**
ボタンを押すたびに「bc-A」⟷「bc-b」表示が交互に表示されます。受信状態が良くなる設定を選んでください。

聞きかた

ラジオを聞く

オート(自動)/マニュアル(手動)チューニング

受信したい放送局の周波数にオート(自動)または、マニュアル(手動)で合わせます。

1 TUNER/BANDボタンを押してバンドを選ぶ

表示窓に、前に受信していたバンドと周波数を表示します。

- 電源コードが接続されている場合は、電源が切れているときでも、TUNER/BANDボタンを押すと自動的に電源が入り、表示窓に、前に受信していたバンドと周波数を表示します。

押すたびに、以下のように切り換わります。

「FM(TV) TUNER」⟷「AM TUNER」

2 SKIP/TUNINGボタン(I◀◀ または ▶▶I)を押して、希望の放送を受信する

オート(自動)スキャンチューニング

ボタンを1秒以上押し、周波数が変わり始めたら指を離します。周波数が自動的に進み、放送を受信すると自動停止します。

- ボタンを押し続けていると停止しません。
- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信して自動停止することがありますが、故障ではありません。

マニュアル(手動)チューニング

ボタンを短くポンポンと繰り返し押します。

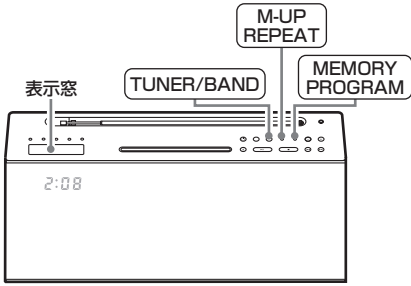
(表示窓の表示例)

ちょっとこれを!

- 選局時、周波数は正しく合わせてください。新聞の番組覧などを利用すると便利です。

周波数(チャンネル)は次のように変わります

- 選局中、各バンドの上限、下限に達すると、周波数(チャンネル)は各バンドの下限、上限に移ります。

つづく

ご希望の放送局をプリセットしておくと、簡単に選局することができます。
オート（自動）または、マニュアル（手動）でプリセットすることができ、FMは24局、AMは20局までプリセットできます。

希望局をオート（自動）プリセットする

受信できる放送局をオート（自動）でプリセットする。

1 **TUNER/BANDボタンを押してバンドを選ぶ** P18

2 **MEMORY PROGRAMボタンを3秒以上押す**

表示窓に「PROG」表示が点滅します。
周波数が変わり始めたら指を離します。周波数の下限から自動的に進み、受信した放送局を自動的にプリセットします。オートプリセット中はプリセットできた番号を表示します。
受信できる放送局がFMで24局、AMで20局登録されるか、バンド周波数の上限に達するとオートプリセットは終了し、「PROG」表示が消えてプリセット番号「P1」に登録された放送局を受信します。

- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動登録できないことがあります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信してプリセットすることがありますが、故障ではありません。

（表示窓の表示例）

3 **他のバンドでプリセットする場合は、希望のバンドに切り換えて、操作2を繰り返す**

ご注意

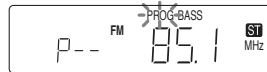
- オートプリセットを実行すると、前の内容は消えます。

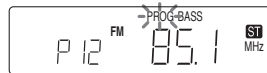
希望局をマニュアル（手動）プリセットする

受信できる放送局をマニュアル（手動）でプリセットする。

1 **プリセットしたい放送局を受信する** P18

2 **MEMORY PROGRAMボタンを押す**

表示窓に「P−−」を表示し、「PROG」表示が約10秒間点滅します。
（表示窓の表示例）

3 **「PROG」表示点滅中にM-UP REPEATボタンをくり返し押して、プリセット番号を選ぶ**

（表示窓の表示例）

4 **プリセット番号表示中に、MEMORY PROGRAMボタンを押す**

（表示窓の表示例）

聞きかた

ラジオを聞く

5 同じバンド内で他局をプリセットする場合は、操作1～4を繰り返す

6 他のバンドでプリセットする場合は、希望のバンドに切り換えて、操作1～4を繰り返す

ちょっとこれを！

- 初めてプリセットするときは、各バンドとも、ある特定の周波数がすでにプリセットされています。
- すでに放送局がプリセットされているプリセット番号に、新しく放送局をプリセットすると、前の内容は消えます。
- プリセットの内容はPOWER(⏻)ボタンで電源を切っても残ります。電源コードを抜いた際や停電時はプリセットの内容が消えます。その場合は、プリセットし直してください。

プリセットした放送局を聞く

プリセットスキャン選局

1 TUNER/BANDボタンを押してバンドを選ぶ P18

2 M-UP REPEATボタンを1秒以上押す

表示窓に「プリセット番号」を表示し、受信できたプリセット局を順に約5秒ずつ受信します。

（表示窓の表示例）

3 聞きたい放送を受信したら、M-UP REPEATボタンを押す

その放送を受信し続けます。

- プリセット局を一巡すると、ボタンを押す前の放送局を受信します。
- STOP(■)ボタンを押してスキャンを停止することもできます。

（表示窓の表示例）

プリセット選局

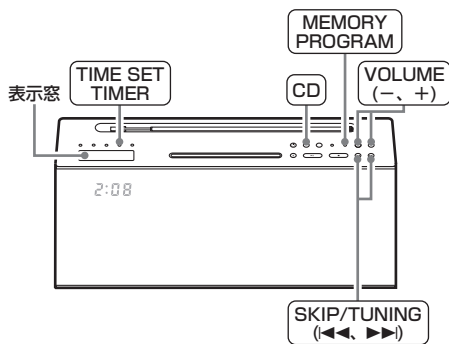
1 TUNER/BANDボタンを押してバンドを選ぶ P18

2 M-UP REPEATボタンをくり返し押してプリセット番号を選ぶ

ボタンを短くポンポンとくり返し押します。ボタンを押すたびに次のプリセット局を受信します。

- プリセット局以外を受信中に押すと、プリセット番号「P1」の放送局を受信します。

（表示窓の表示例）

タイマーを使う

おめざめタイマーで音楽を聞く

めざまし時計のかわりにCDやラジオ、アラームを鳴らすことができます。おめざめ時刻になると設定した音量までフェードイン(徐々に大きく)して再生します。タイマーは一度設定すると、毎日同じ時刻に動作します。
タイマーを設定する前に必ず現在時刻を合わせてください。

準備　本機の電源を入れ、現在時刻に誤差があるときは、正しく設定をし直してください。P10

(例)毎日、朝の7:30から8:15までめざまし演奏をする

1 **タイマー動作させたいファンクションを選ぶ**

CDを聞く: ディスクを入れ、CDボタンを押して「Cd」を選ぶ
ラジオを聞く:放送局を受信する。P18〜20

2 **VOLUMEボタン(−または+)を押して音量を調節する**

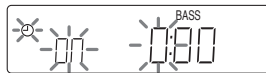
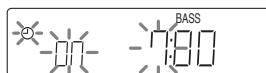
あらかじめ、タイマー演奏時の音量を設定しておきます。

タイマーオンの設定

3 **TIME SET TIMERボタンを2秒以上押す**

表示窓に「◷」表示が点滅し、「ON」表示と前回セットしためざまし開始時刻を表示します。

4 **「◷」表示点滅中にMEMORY PROGRAMボタンを押す**

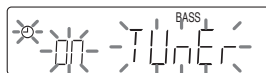
表示窓の「ON」と「時」表示が点滅します。

5 **SKIP/TUNINGボタン(|◀◀ または ▶▶|)を押して、開始「時」を合わせる**

6 **MEMORY PROGRAMボタンを押す**

表示窓の「分」表示が点滅します。

7 **SKIP/TUNINGボタン(|◀◀ または ▶▶|)を押して、開始「分」を合わせる**

- 分表示が「59」から「00」になっても、「時」表示は繰りあがりません。

8 **MEMORY PROGRAMボタンを押す**

おめざめタイマー開始時刻がセット完了し、タイマー動作のファンクション表示が点滅します。

- CDやラジオの代わりにアラームを鳴らす場合は、SKIP/TUNINGボタン(|◀◀ または ▶▶|)を押して、「AL」を表示させます。
  アラームを選ぶと、表示窓に「ALARM」表示が点灯します。開始時間のみ設定可能で、約10分間アラーム音が鳴ります。

聞きかた

タイマーを使う

タイマーオフの設定

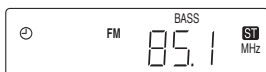
9 **MEMORY PROGRAMボタンを押す**

表示窓に「OFF」とセットしためざまし開始時刻を表示し、「◴」と「OFF」、「時」表示が点滅します。

10 **5〜7と同様の操作をする**

めざまし停止時刻を設定します。

11 **MEMORY PROGRAMボタンを押す**

おめざめタイマーがセットされ、表示窓の「◴」表示が点灯に変わり、もとの表示に戻ります。

12 **POWER(⏻)ボタンを押して、電源を切る**

これでおめざめタイマーの待機状態になります。「◴」表示が点灯したままで、現在時刻が表示されます。

- 電源が入っていると、開始時刻になってもおめざめタイマーが動作しません。

ちょっとこれを！

- おめざめタイマー開始時刻になると自動的に電源が入り、設定した内容で演奏が始まります。このとき、音量は、無音状態から設定した音量レベルまで徐々にあがっていきます。
- おめざめタイマー動作中は、表示窓に「◴」表示が点滅します。
- おめざめタイマー停止時刻になると電源が切れ、タイマーの待機状態（毎日同じ動作をする）になります。
- おめざめタイマーは解除しない限り、毎日同じ時刻に同じ動作をします。
- おめざめタイマー動作中にPOWER(⏻)ボタンを押すと、電源が切れ、タイマーの待機状態になります。
- おめざめタイマーでラジオを聞く場合、おめざめタイマー設定時の周波数（放送局）が記憶されます。

タイマーの設定内容を変更する

1 **電源を入れ、タイマー動作させたいファンクションに切り換える** P21

2 **TIME SET TIMERボタンを2秒以上押す**

表示窓に「◴」表示が点滅し、「ON」表示とセットしためざまし開始時刻を表示します。

3 **「◴」表示点滅中にMEMORY PROGRAMボタンをくり返し押して、変更したい項目を点滅させる**

押すたびに、以下のように切り換わります。

開始時刻「時」 → 開始時刻「分」 → タイマー動作のファンクション → 停止時刻「時」 → 停止時刻「分」 → 選択ファンクション（もとの表示）

- MEMORY PROGRAMボタンをくり返し押すと、タイマーの設定内容を確認できます。

4 **「おめざめタイマーで音楽を聞く」と同様の方法で、設定を変更する** P21, 22

タイマー設定を解除するには

1 タイマー待機中に、電源を入れる

2 TIME SET TIMERボタンを押す

現在時刻を表示します。

3 現在時刻表示中に、もう一度TIME SET TIMERボタンを押す

- タイマー設定を解除した後、再度タイマーを設定するには、手順2～3と同様の操作をするとタイマーが設定されます。(表示窓に「◷」表示が点灯したら設定されています)
  タイマー待機状態にするときは、POWER(⏻)ボタンを押して電源を切ってください。

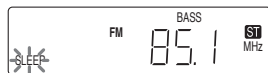
おやすみタイマーを使う

おやすみタイマーを使うと、自動的に電源を切ることができます。電源が切れるまでの時間は90分から10分まで、10分刻みで設定できます。
電源が切れる約1分前になると音量がだんだんと小さくなり、そのあと電源が切れます。

SLEEPボタンを押して、電源が切れるまでの時間を選ぶ

表示窓に「SLEEP」と「時間」表示が点滅します。
押すたびに、以下のように切り換わります。

→SLEEP 90 → SLEEP 80 → SLEEP 70
もとの表示 ← SLEEP 10 ←

数秒後、もとの表示に戻り、表示窓に「SLEEP」表示が点滅し、設定が終了します。

おやすみタイマーの動作中に、残り時間を確認する

おやすみタイマーの動作中に、SLEEPボタンを押す

おやすみタイマーの残り時間が表示され、数秒後、もとの表示に戻ります。

- 残り時間表示中に、SLEEPボタンボタンをポンポンと押すと、残り時間を変更することができます。

おやすみタイマーを途中で解除する

SLEEPボタンを数回押して、「もとの表示」を選ぶ

「SLEEP」の点滅表示が消えておやすみタイマーが解除されます。

おめざめタイマーと組み合わせて使うには

おめざめタイマーとおやすみタイマーを組み合わせて使うことができます。

おめざめタイマーの開始時刻に、電源が切れているようにおやすみタイマーを設定する

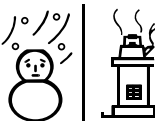
お手入れ/CDについて

本体のお手入れ

キャビネットや操作パネルのよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

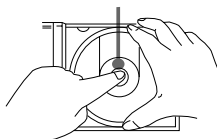
- よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

露つき（結露）のご注意

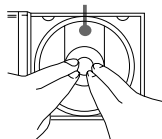
周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露（水滴）が発生することがあります。この状態では正常にCDを演奏できないことがあります。このような場合、CDを取り出し、使用される場所で約2時間放置した後、ご使用を開始してください。

CDの取扱いと保管

ケースからの出し入れは

出し方

センターホルダーを押さえ

演奏面に触れないように持って出す。

入れ方

印刷面を上にして…

上から押さえて入れる。

ディスクの取扱いかた

- 演奏面には手を触れないでください。

CDの保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- CDは必ずケースに入れて保管してください。

本機を持ち運びするときは

- CDを必ず取り出してください。
  入れたまま持ち運びすると、CDに傷をつけたり、故障の原因になります。

CDのお手入れのしかた

- CDについた指紋やほこりなどのよごれは、音質低下の原因となります。柔らかい布で、CDの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- 汚れがひどい場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭き取ったあと、乾いた布でカラ拭きしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

故障？　その前にちょっとこれを

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

故障？	原因	処置
音がでない	● 電源プラグがはずれている ● 乾電池が消耗している ● 音量が小さく設定されている ● ヘッドホンが差し込まれている	● プラグを確実に差し込む ● 乾電池を交換する ● 音量を調節する ● ヘッドホンをはずす
CDプレーヤー部		
演奏がはじまらない	● CDが裏返しになっている ● CDが汚れている ● CD以外のDVDやMP3,WMAディスクが入っている	● レーベル面を手前にして入れる ● 清掃する ● CDに取り替える
音がとぶ	● CDに大きな傷やソリがある ● 振動する場所に設置している ● CDが汚れている	● CDを取り替える ● 振動のない場所に設置する ● 清掃する
CD-R/CD-RWが読み込めない	● 不完全な録音形式で録音されたCD-R/CD-RWが入っている	● 正規の録音形式で録音されたCD-R/CD-RWを使用する
ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	● 電波の受信状態が悪い ● 電源雑音の影響を受けている ● モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ● 選局がずれている	● 本機の設置場所を変える ● 電源コードを差し替える ● 本機を雑音源から離す ● テレビを消す ● アンテナの向きを調節する ● 正しく選局する
その他		
タイマーが動作しない	● 本体の電源が入っている ● 停電などで時計が止まっている	● 電源を切る ● 時計を設定する
乾電池で使用するときに電源が入らない	● 本体に電源コードが接続されている	● 乾電池で使う場合は、本体から電源コードを外す

お願い

CDの演奏中に、表示や動作が異常になった場合は、POWER(⏻)ボタンを押して一度電源を切ったあと、電源コードを引き抜いて再度コンセントに電源コードを差し込んでください。ただし、この状態ではメモリーしたデータは全て消去され、製品出荷時の状態に戻ります。

長時間使用していますと、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

保証書とアフターサービス

保証書[裏表紙にあります]について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

修理サービスについて

ご使用中に調子が悪くなったときは「故障？その前にちょっとこれを」 P25 の一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中の修理は
  保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間経過後の修理は
  修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

CDラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

アフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 転居される場合は
  ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合には最寄りの無印良品の販売店または販売元お客様室にお問い合わせください。
- ご贈答の場合は
  最寄りの無印良品の販売店にお問い合わせください。

点検のおすすめ

本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、摩耗したりすると音質が損なわれます。きれいな音でお聞きいただくためには、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ1000時間をめどに点検（清掃、一部部品交換）されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状はありませんか？	● 電源コードやプラグが異常に熱い ● コゲくさい臭いがする ● 電源コードに深いキズや変形がある ● その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

仕様

CD プレーヤー部

チャンネル数	2 チャンネル ステレオ
サンプリング周波数	44.1kHz
ピックアップ	半導体レーザー(波長 790nm)
ワウ・フラッター	測定限界以下
周波数範囲	20～20,000Hz

ラジオ部

受信周波数	AM:522～1,629kHz (9kHzステップ) FM:76～90MHz (100 kHzステップ) / TV:1～3ch

共通部

出力	1.5W + 1.5W(JEITA 、8Ω)
スピーカー	8.5cm コーン型 8Ω×2
出力端子	PHONE端子(ヘッドホン、ステレオミニジャック) 3.5φミニ×1 適合インピーダンス 8 ～ 32 Ω X 1 系統
時計	月差60秒以内
電源	AC 100V、50/60Hz DC 12V 単2形乾電池×8本
消費電力	15W(待機消費電力 ECO ON:2W OFF:2.6W)
外形寸法	390(幅)×170(高さ)×80(奥行)mm (つまみ等の突起物含む。)
質量	約2.6kg(乾電池含まず)
付属品	電源コード(コード長:約1.8m)

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

その他

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令として決定されています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聴くことはできません

修理相談窓口

■まずはお買い上げ販売店へ …

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

修理サービスについてのご相談　　三洋電機サービス株式会社

受付時間：月曜日 ～ 金曜日　9:00 ～ 18:30　土曜･日曜･祝日・当社休日　9:00 ～ 17:30

修理相談窓口	東コールセンター	関東･甲信越地区	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
		北海道地区	050-3116-2333
		東北地区	050-3116-2444
	西コールセンター	近畿･北陸･四国地区	050-3116-2555 大阪(06)4250-8400
		中部地区	050-3116-2666
		中国地区	050-3116-2777
		九州地区	050-3116-2888

沖縄地区	沖　縄	098-944-5018

受付時間　月曜日～土曜日 9:00～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日を除く）

☆上記の修理相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

無印良品CDラジオ保証書

持込修理

形　名	PRD-2	
お客様	ふりがな お名前　　　　　　　　　様　☎ 〒 ご住所	
取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間	お買いあげ日 年　月　日より	本体は1年間 （ただし消耗部品は除く）

〈無料修理規定〉

1　取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買いあげの販売店が無料修理いたします。

2　保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。

（イ）本書のご提示がない場合

（ロ）本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。

（ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。

（ニ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。

（ホ）火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。

（ヘ）一般家庭用以外（例えば、業務用）に使用された場合の故障・損傷。

（ト）消耗部品（ふたパッキン）が損耗し取り換えを要する場合。

3　保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客さまの負担となります。

4　本書は日本国内においてのみ有効です。

●本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

●保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。

●ご転居・ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、お近くの無印良品の販売店または販売元お客様室にお問い合わせください。

●本書は再発行いたしません。たいせつに保存してください。

★この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいまして、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店または販売元お客様室にお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

株式会社
良品計画
〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様室でんわ　(03)3989-5200

販売元　株式会社
良品計画
〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様室でんわ (03)3989-5200
受付 土日を除く10：00～17：00

製造元 三洋電機株式会社
デジタルシステムカンパニー
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号

1AD6P1P2181--C (JP3)